

日本学術会議第一部・分野別委員会・史学委員会(第24期・第4回) 議事要旨

日時:平成31年4月24日 12時より13時15分

会場:日本学術会議 日本学術会議 1階 自販機横

出席者:小佐野重利、久留島典子、栗田禎子、佐野正博、橋本伸也、福永伸哉、若尾政希、

議事

(1) 前回議事要旨の確認

前回議事要旨の確認をおこなった。

(2) 2019年度予算執行について

今年度、第一部各分野別委員会に配分され、委員会内の調整を経て執行される形となった予算について、史学委員会の対応を協議した。

その結果、(1)史学委員会の配分予算については、委員会内設置分科会別に試算されている額を当初各分科会に配分する。(2)各分科会は、今年度第1回会議は、原則として通常通り開催することとするが、その時期については、史学委員長より予め調査する。(3)今年度2回目となる10月開催予定の史学委員会において、予算執行状況をみて、調節の必要があるか否か、必要があるとすればその方法等について協議する。

以上が決定された。

ただし、各分科会に配分されている予算は、7割の出席率で1.5回開催とした場合の試算額なので、当初より今年度3回以上の開催を予定している分科会は、第1回分科会開催時から、旅費・手当等の調整の必要があることが確認された。

(3) 各分科会からの活動状況報告

(2)の協議の際、あわせて報告された。

(4) その他

科学者委員会研究評価分科会より、分野別委員会に対して協力要請された「分野別研究評価の実態調査(緊急調査)」について、史学委員会としての対応を協議した。

その結果、(1)同調査に対して史学分野として回答することは、その設問内容等から不可能と判断せざるをえないので、史学委員会として、このアンケートに回答し提出する形はとらないこと。(2)この旨を説明する文章とともに、この調査に関して史学委員会内で出された意見、および史学分野の二つの専門から個人的判断として提出されたアンケート回答、これらを史学委員会の回答として提出する。以上が決定された。

以上